

ちょこっとコーナー

先日、トランプで大富豪をこどもたちとしました。いろいろなやり方がある中で、3～キングまで順番に強さが上がっていき、キングの次に強いのはエース→2→ジョーカーの順に強いことを教えました。一番強いジョーカーが一番弱い3にだけは負けるというルールを加えて、実際に挑戦してみると、楽しくて何回戦もしていました。

ぜひ、お家でもしてみてください。

おねがい

<白ご飯持参について>

○春休みの予定表を確認の上、持参をお願いします。

※12日(月)は山陽北小学校の1年生が11:40下校(給食なし)

※26日(月)は山陽北小学校、全学年振替休日です。

給食(おかず)は準備しますので、白ご飯の持参をお願いします。

また、12日については学校があるため、白ご飯はこどもに持たせるか7:00~8:30までは保育園、8:30以降はこどもセンター(きのやかた)で受け取りをします。

<持ってきていただきたいもの>

○各家庭につき、ぞうきん1枚・ティッシュ2箱のご協力をお願いしています。持ってこられましたら、各クラブの名簿に丸をお願いします。

<駐車場>

○日頃から送迎時Aグランドに駐車していただき、ありがとうございます。保護者の皆様のご協力のもと、事故・トラブルがなく運営できております。今後も、**Aグランドへの駐車**の徹底をよろしくお願いいたします。

<4月・5月の予定>

○随時掲示や手紙でお知らせいたします。

やかた便り

あすなるこどもセンタークラブ情報紙

令和3年4月5日 第1号

「日本の春」

いよいよ新年度がスタートしました。世界的には学校は9月始まりが多いようですが、日本では、やはり桜の咲く4月が最も新年度にふさわしいように感じます。

社会人として、また大学や高校・中学校・小学校と、それぞれの場での新しいスタートを迎えた多くの人たちがいることでしょう。また、職場は変わらなくとも、周りの顔ぶれが変わることで、新しい一歩を踏み出した人も多くいることと思います。

日本人は桜を見ると心を動かされるようです。これは不思議なことですが、外国の方が桜を見るのとは少し心の動きが違うようだと言ったことがあります。アメリカにも日本から贈られた桜の花が咲いているところがあるようですが、あちらでは桜の下を通ることはあってもただそれだけで何もないそうです。

一方、日本人はというと、桜の花の下で花を愛でながら、家族や職場の人たちと食事をしながら歓談をする習慣があります。今年はコロナの影響で自粛もありますが、基本的に日本人は桜を見ると、それぞれに心の中で思うことが多い人種のようなのです。

実は、この自然と親しむ習慣はとても大事だということを、どれだけの人がわかっているのでしょうか。現代人は、最近周りの空気を読めない人が増えているようです。これは、その人が幼児期やこどもの頃、いかにたくさんの自然と関わっているかということが大きく関係しています。

こどもの頃に山や川、たくさんの自然とふれあったこどもたちは、自然が優しいこともまた厳しいことも知っています。風や空気の流れで周りの環境が変わることを知り、どうやったらその環境にうまくなじむかを体で覚えていきます。このことが周りの状況を判断する訓練になっていて、大きくなると相手の心をくみ取ったり、思いやったりすることにつながっています。いわゆる自己中心的な人というのはこの経験が少ない人で、相手の表情や態度からその心を読み取ることができないのです。その結果、相手の言動を批判するだけで自分の言い分を押しつけることしかできなくなり、人間関係のトラブルを抱え込んでいる人が多くいるのはたいへん残念なことです。

私たちは仕事柄、多くのこどもたちをお預かりしています。そのこどもたちに、たくさんの自然体験と、同時にまちがうことをしっかり教えてやれる大人でありたいと思っています。こどもはまちがいから学ぶものです。失敗もけんかも、大きくなるための大切な経験だということを知っていれば、こどもを叱ることが減ってくるかもしれません。

「あんな大人になりたい。」と思えるような、後ろ姿で人を導くことができれば最高だな、と桜を見上げて思った春の一日でした。皆さんの新しいスタートと一緒に応援したいと思っています。

春休みの様子

至るところで花が咲き、春の訪れを感じています。
4月1日より、こどもセンターに新しく1年生を迎えて、新クラブとなりました。



初日は、各クラブで朝のあつまりとして、一日の流れや約束事を伝えて、進級会・歓迎会をしました。

緊張しながらも、自分の名前を発表する一年生を温かい目で受け止める2年生～5年生の姿に嬉しさを感じました。その後の班決めでは、早速3年生がリーダーとして、低学年を引っ張る様子がありました。



晴天が続き、A グランドに出て、みんなが大好きな外あそびをしました。

鬼ごっこや大縄跳び、サッカー等しっかりと体を動かして、気づけば汗をかくほどあそびました。また、高学年が一年生を誘い、あそび方を教えてあげる場面も。児童クラブだからできる異年齢の交流を大切にして、こども同士のつながりを広げていきます。



職員紹介



こどもセンター 所長

杉井 康志

きのやかた

カシオペアクラブ(2階)

そらのやかた

オリオンクラブ(2階)



松本 牧 藤野



松田 井上

アンドロメダクラブ(1階)

スバルクラブ(1階)



重利 岡村 満田



種子島 三宅 秋葉

1年間よろしくお願ひします。

